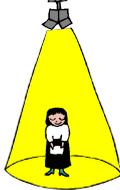


科目名	演劇体験Ⅱ		教科名	演劇	系	芸術アーツ	
種別		自由選択	単位数	2	開講学期	通年	
教科書	なし		副教材	なし			
履修条件(履修順序)	演劇体験Ⅰを履修した者						
履修上の注意事項	演劇を体験したことのない人向き。運動できる服装に着替えて参加すること。授業への参加態度を重視。なお、授業時間外となるが、発表会は全員参加のこと。						
学習の目標	発声・身体表現による集団創作をおこなうことで、自分を表現する喜び・仲間と創り上げる喜びを体験し、コミュニケーション能力を高める。「演劇体験Ⅰ」よりも精度が向上する。						

[学習内容]

<p>《前期》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1年間の授業の進め方について ・ 発声、開放から信頼・関係性・伝達・身体表現・空間把握・創造に至るエクササイズ ・ インプロビゼーション、エチュード（即興による練習） ・ テキスト（演劇脚本の抜粋、詩、散文など）を用いたエクササイズ ・ 前期授業発表へ向けての練習（ワークショップ内容を発展、構成） ・ 前期授業発表（文化祭等）と振り返り 	
<p>《後期》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 発声、身体表現・空間把握・創造に至るエクササイズの発展 ・ インプロビゼーション、エチュード（即興による練習）の発展 ・ 脚本創作（エチュードから立ち上げる、テキストを解体再構成する、など） ・ 後期授業発表へ向けての練習（生徒による創作脚本による） 音響・照明・装置等の学習を含む ・ 後期授業発表 ・ 1年間の感想とまとめ 	

[評価規準]

内容のまとめり	①関心・意欲・態度	②自己理解	③他者理解	④共有
シアターゲーム・インプロビゼーション・エチュード	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分から積極的にワークショップに参加しようとする意志を持っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分のイメージを持って、声と身体を使った表現できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 他者の表現を大切に受け取ろうとしている。 ・ その場の状況、空気、間に応じて行動できる 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 協働して表現をしている。 
授業発表に向けての練習	<ul style="list-style-type: none"> ・ 集団創作に積極的に関わろうとする意志を持っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 集団の中で自分は何ができるか、何をすべきかを考えている。 ・ 観客によりよく伝える工夫を意識している 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 他者の表現を活かすことを考えて行動している。 ・ 自分と他者の、声と身体が効果的に表現されるための行動が取れる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 集団で創作するときの、自分の責任の重要性を理解している。 ・ 自分の意見と他者の意見の違いについて、よく話し合おうとしている。

[学習評価]

評価にあたって、◎は重視する項目、○は参考にする項目

評価対象\観点	①	②	③	④	具体的な評価方法
学習状況（含む発表）	◎	◎	◎	◎	取り組み状況・出席状況など
課題レポート	◎	◎	◎	◎	レポート提出・内容読み取りなど

